

冬の動物園の見どころ

冬は北方圏の動物たちがイキイキと輝く季節。ユキヒョウやシンリンオオカミ、フタコブラクダなど、冬毛が美しい動物をぜひ観察してみてください。



シロフクロウのフライト

シロフクロウ「サーベル」のフライトは冬限定です！トビの鷹匠体験もできます。



冬毛に生え変わったフタコブラクダの「マサコ」

北方圏の動物ではありませんが、昼夜の温度差が激しい砂漠に生息するフタコブラクダは寒さにとっても強い動物です。



シンリンオオカミ「キヤコ」のお昼ご飯

カナダやアラスカの森林地帯に生息しています。



レッサーパンダ「ココ」のドキドキ体重測定

飼育員の楽しい解説付き



チンパンジー「レディ」の復帰訓練

群れに帰るための訓練の様子を公開しています

暖かな屋内でも楽しめるメニューがいっぱい！

動物とのふれあい体験を通じて動物の生態や命の大切さを伝えている「みんなのドキドキ体験」は現在30種類以上あり、人気のメニューも冬期間は混雑しないため参加しやすくなります。時間は携帯サイトや園内の案内看板で確認できます。

どうぶつ豆知識シリーズ【第3回】カバ

① どんな動物？

アフリカの湖沼や河川に10～15頭の群れで生息しています。鼻の穴を自由に開閉することができ、水中でも水が入りにくい仕組みになっています。陸上では時速40km以上で走る能力を持っています。

オスは尻尾を振り回して糞を撒き散らし、においづけして縄張りを示します。カバの皮膚はとても弱く、水がないとすぐび割れてしまいます。汗腺はありませんが、皮膚の表面からピンク色の粘液をだして、直射日光や紫外線から皮膚を保護しています。また、この粘液には殺菌作用があり、感染症にかかるのを防いでいます。

4.5歳で繁殖可能となり、妊娠期間は210日～240日、1回に1子を生みます。

② 食べ物

日中は水の中で過ごし、夜になると陸に上がって草を食べます。動物園では草、ニンジン、イモ、キャベツ、おからなどを与えています。

③ 野生のカバが減り続けています

放牧地や農地の開拓による生息地の減少や、肉を食料にしたり、犬歯を工芸品にするためにたくさんのカバが殺されたため、急激に数が減っています。アフリカで第二の生息地であったコンゴ民主共和国で95%も減ってしまったので、2006年のレッドリストで「絶滅危種」に指定されました。

④ 生息環境にも深刻な影響を与えています

カバは、川や湖そして水辺の草原地帯のいろいろな生き物にとって重要な役割をもっています。カバの糞を栄養源としている生き物も多く、特に魚類にとって欠かせません。カバの生息数の減少で、魚が減り漁業も大きな影響を受けています。

⑤ これ以上減らさないためには

保護区が決まっていますが、肉や歯をねらった密猟がまだまだ多く、軍隊の兵士たちも食料とするため、カバをどんどん殺しています。これらを防ぐための監視と教育、現地住民たちが自然を大切にしながら、農業や漁業をずっと続けていけるよう支援が必要です。

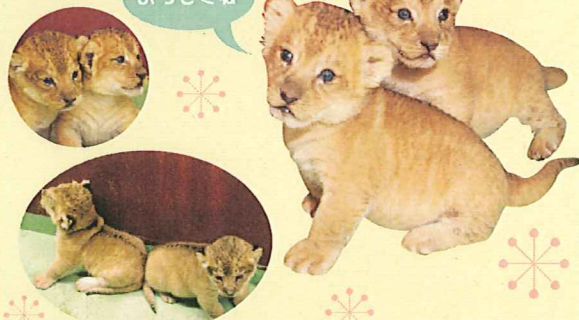


★新着動物情報★

<ライオンの赤ちゃん誕生!!>

2007年11月27日、リッキーとティモンの間に、待望の赤ちゃんが2頭誕生しました。母親のティモンからお乳をもらってすくすく成長しています。

よろしくね



お父さん(リッキー)



お母さん(ティモン)

毎日の動物園情報は...

Webシティさっぽろ
札幌市丸山動物園
(本日の丸山動物園)
http://web.city.sapporo.jp/maruyamazoo/

札幌市コールセンター
TEL 011-222-4894
(年中無休 午前8時から午後9時まで)

ケータイサイト
「みんなの丸山動物園」
アドレス ▾ QRコード ▶
http://zoo.mobat.jp/

